



Vol.167

2025年 2月号

やらざあ



「ふだんのくらしのしあわせ」 ってなんだろう？

令和6年10月東部中学校のキャリアシンポジウムに参加しました。1年生から3年生まで約50名の生徒さんが茅野市社協のブースにて、社協の仕事や自分にできるふくしについて考える時間を過ごしました。

—中学生にもできるふくしはどんなことがありますか？—

「近所の方々に挨拶をすること」「地域の行事に参加し地域の人を知ること」が、みなさんにもできる身近なふくしのひとつだとお話しました。自分にできる身近なふくしの積み重ねで自分の住む地域をよくして行ってほしいです。

—参加した中学生の感想—

普段の暮らしを幸せにしているためにはボランティア活動をするだけでなく、お年寄りに声をかけてみるなど私たちの地域にはいろんな人がいることを理解することが普段の暮らしの幸せにつながる第一歩だとわかった。

もくじ

- ・シリーズ社協が取り組む福祉教育 がっこう×ふくし 宮川小学校 -2-
- ・第61回茅野市社会福祉大会のご報告×ボラまち掲示板 -3-
- ・「任意後見制度」講演会のお知らせ／支援米ご報告／クイズ／読者の声 -4-



がっこう



ふくし



“社協”のことで知り、“福祉”に興味を持ってもらうきっかけに！

宮川小学校では、職業体験を通して、子どもたちが地域のことを知り、そして未来へ繋がるようにと、地域の方々の協力を得ながら、宮川ドリームゼミを開催しています。

茅野市社協では、子どもたちに“社協”のことで知ってもらいたい！“福祉”に興味を持ってもらう機会になれば…と、職業体験の中に福祉教育の内容も取り入れ、宮川ドリームゼミに参加しています。



《仕事内容などを説明》

「“ふくし”ってどういうことだと思う？」、「社協って知ってるかな？」と児童への質問から始まり、社協の仕事内容や、宮川小学校でも取り組んでいただいている赤い羽根共同募金の説明をしました。

説明後、2つのグループに分かれ①と②を体験
空き時間は展示コーナーへ

《赤い羽根共同募金》

体験①

体験②

《車いす操作》

募金箱作り

どのバッジが出るかな…

自然と助け合い
ができています

ガチャ機体験

こうやって作るといいよ！



乗っている人を気遣いながら操作中



《展示コーナー》点字本とユニバーサルデザイン

違いはなに??



点字本を解読中



宮川小学校 両角淳司先生より

社会福祉協議会の皆さんによる体験活動を通して、子どもたちが、普段の学校生活だけではなかなか味わえない「社会」、また「社会に生きる様々な人々の生活や思い」に目を向け、人に寄り添うこと、社会に貢献することの心地よさを体感させていただくことができました。子どもたちが、今、そして将来に渡って、色々な人とのかわりの中で、自分と他者の幸せを希求して生きていってほしいと願っています。

社協の仕事内容を一言で伝えるのは難しいですが、子ども達が“ふくし”や“社協”を知るきっかけになればいいと思います。

体験の中で、子どもたち同士の相手を思いやる姿を見た時には、ほっこりした気持ちになりました。





第61回

令和6年11月30日 in マリオローヤル会館

茅野市社会福祉大会を開催しました

地区社会福祉協議会やボランティア団体の関係者など、茅野市内外から100名を超える方々が参加してくださいました。たくさんのご来場ありがとうございました。



～第1部～

表彰式

社会福祉貢献者表彰

表彰者 個人19名・10団体

～第2部～

シンポジウム

「令和6年能登半島地震における災害支援から社協・地域・行政の三者連携を考える」



令和6年能登半島地震にて被災されました富山県氷見市の民生委員児童委員協議会会長・氷見市社協の職員をお招きし日本福祉大学学長の前田先生進行のもとシンポジウムを行いました。

会長のお話では、活動の際はとにかく無理をしない、一人で背負い込まず地域団体の方々と協働して取り組むことが大切だとお話いただきました。



—その他社会福祉大会の詳細につきましては、HPに掲載しておりますのでご覧ください。—



ボランティアの力を、茅野市から能登地域へ！

～令和6年能登半島地震・豪雨災害ボランティア活動のご報告～

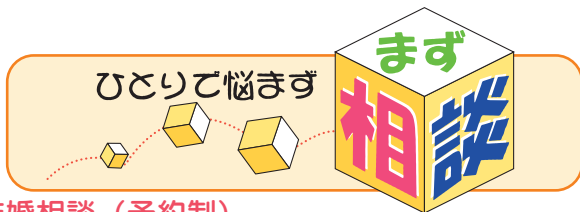
茅野市社協では、令和6年（2024年）1月1日に石川県能登地方で発生した最大震度7の地震発災直後から、富山県氷見市、石川県能登町、中能登町、珠洲市の災害ボランティアセンターに、社協職員延べ20人を、延べ84日間派遣し、現地で災害ボランティアセンターの運営支援にあたりました。

また、9月21日からの豪雨災害により被災された地域で、茅野市民の皆さんとともに、住宅の家財の搬出、災害廃棄物の運搬、泥だしなどの災害ボランティア活動を行いました。

11月1日には、茅野市民（防災士）3名と社協職員3名が、石川県輪島市において豪雨災害で被災された住宅の泥だしや家の中に流れ込んだ土砂で使えなくなってしまった家財の運び出しを行いました。能登地域の被害の大きさを目の当たりにし、住民の皆さんが落ち着いた生活を送るには、かなりの時間が必要だと実感しました。今後も現地の状況を確認しながら、継続的に被災地支援に努めていきたいと思ひます。



支援期間	活動場所	活動人数
令和6年2月11日	富山県氷見市今町地区	20名
4月11日～12日	石川県能登町宇出津地区	10名
6月13日～14日	石川県能登町柳田地区	6名
10月31日～11月2日	石川県輪島市町野地区	6名



結婚相談（予約制）

※相談希望日の2営業日前までに予約が必要です

結婚を望まれる方の相談

毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の無料法律相談（予約制）

※前日の午後4時までに予約が必要です

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士

緊急小口資金等の特例貸付返済に関するご相談（随時）

相談会場は社協相談室（茅野市ひと・まちプラザ2階）になります。

☎（0266）73-4431

上記以外の様々なお困りごとにも社協にご相談ください。

『ひとにぎりのお米（支援米）』 にご協力いただきありがとうございました。

令和6年度「ひとにぎりのお米（支援米）」は、1団体、26名の方々にご寄付いただき計**536 kg**が集まりました。お預かりしたお米は、市内の生活でお困りの世帯や子ども食堂等を運営する支援団体などへ配布させていただきます。

社会福祉協議会では年間を通じて、困っている方に米等の食料品を届ける活動をしています。お預かりできないものもありますが、ご家庭・企業で眠っている食料品がありましたら、下記までお問い合わせください。

問合せ先 茅野市社協 生活支援サービス係
TEL 73-4431

ど寄附ありがとうございました

令和6年10月1日～令和6年11月30日まで

【寄附金】

茅野市ソフトボール協会会長様	56,400円
茅野市ハッピ総合博物館機織ボランティアねじばな様	12,000円
茅野商工会議所様	80,000円
八十二銀行こまくさ会様	36,000円

【寄附品（清拭布用タオル等）】

丸山政廣様／ほっこらサロンの会様／赤羽様

その他匿名で寄附金や食品、タオル等沢山のご寄附がありました。

みなさんからいただいたご寄附は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等にも使われています。

【法人会員】 ㈱イハラ工業／（一社）そうさん／大央電設工業㈱／ちのメンタルクリニック／常富興業／ファナックパートロニクス㈱／㈱マルサン両角石材／㈱リョウワ／㈱ヤクシン総業
法人会員にご協力いただきありがとうございました。

社協広報紙 やらざあ Vol.167

2025年2月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／PR委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266) 73-4431 FAX (0266) 73-8030

社協HP



茅野市・原村成年後見支援センターからのお知らせ

『任意後見制度』講演会

～判断力が低下しても自分らしい生活を継続するために～

任意後見制度は、十分な判断力があるうちに、あらかじめ任意後見人を決め、支援してほしいことを依頼して契約しておく制度です。将来の備えのひとつとして考えてみませんか。

日時 令和7年2月11日（火） 13時30分～15時30分

場所 茅野市ひと・まちプラザ3階集会室

内容 制度の概要や任意後見契約の手続き、遺言など

定員 50人

申込 2月7日（金）までに電話でお申込みください。
平日8時30分～17時30分まで

申込先 茅野市社会福祉協議会 73-4431

参加費無料

読者の声

- 孫が永明小に通っているの、学校見学へ行ってきました。新しい校舎は明るくて広く、ここで勉強できるのは幸せだなと思いました。（塚原 60代）
- 毎回、楽しみに拝見しております。両親がお世話になり、大変助かりました。今後も何か出来ることがあれば協力させていただきます。（宮川 40代）



今回の
クイズ

みんながわかりやすい、
使いやすい形

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか？誰もが使いやすく、わかりやすいデザインの商品などを表す言葉で、わたしたちの身の回りにたくさんあります。

牛乳パックの上の部分、よく見てみると、小さな「へこみ」があります。

牛乳パック（生乳100%）だけにある「へこみ」は、なぜついているのでしょうか？



- ① 牛乳パックを作るときに、しかたなくついでしまうもの
- ② 目の不自由な方が、触っただけで「牛乳」と判別できるようにするため
- ③ 牛乳パックをおしゃれに見せるため

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあ感想、つぶやきなど一言添えて社協PR委員会までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に社協法人会員協力店にて使える商品券を差し上げます。

応募締め切り 令和7年2月12日（水）

前回のクイズの答え ②

当選者

五味洋夫さん（塚原）	佐藤和夫さん（中大塩）	高橋英二さん（玉川）
濱今朝満さん（宮川）	平林恵子さん（塚原）	藤森光治さん（宮川）
宮下 遼さん（塚原）	吉田みのりさん（宮川）	

当選された方には社協法人会員協力店にて使える商品券をお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんの社協会費と赤い羽根共同募金が使われています。